

第 30 回 国際交流の集い (2024.1.28)

茨木市国際親善都市協会主催の「第 30 回 国際交流の集い」が、1 月 28 日(日) に茨木市文化・子育て複合施設「おにクル」において 4 年振りに開催されました。

プログラムは高校生のチアダンスや日本語スピーチコンテスト、ブラジル音楽演奏から始まり、体験ブースでは各団体の着物着付けや書道、折り紙、絵本読み聞かせ等が行われました。

実用日本語学習会からは日本語スピーチコンテストに 3 名の学習者が出場し、それぞれの立場や視点から日本で感じたことをテーマに思いのこもった発表が行われました。また、外国文化紹介ブースではインドネシアとコンゴ民主共和国の文化について 2 名の学習者が紹介し、プログラムの終わりにはコンゴのダンスを披露して来場者と楽しいひと時を持つことができました。(学習会の活動内容は写真パネルにして展示しました。)



4,700 名以上の外国人の方が在住する茨木市。これからも市民の皆さんが外国の方との交流の機会を多く持ち、互いに理解し合い、住みやすく国際色豊かな茨木市になることを願っています。



<外国文化紹介ブース>

外国文化紹介ブースでは、インドネシアとコンゴ民主共和国の文化が紹介されました。日本語クラスに参加する学習者が、母文化の特徴とその魅力を日本語と英語を使ってお話になりました。ブースにあるスクリーンには美しい写真や映像が映し出され、眺めているだけで各国の空気感が伝わってくるようでした。



なかでも豊かな大自然が印象的でした。熱帯気候に属するインドネシアやコンゴ民主共和国では、貴重な植物や動物との出会いに溢れているようです。また、食文化にも興味を惹かれるものがありました。その土地ならではの料理を味わうのは旅の醍醐味ですから。さらに、伝統文化など盛りだくさんの内容で、終盤にはコンゴのダンスを体験しました。

学習者の皆さんは、地域のイベントに積極的に参加してくださいませ。とても嬉しく思います。他国の異なる文化を持つ人々との交流は、自分自身の視野を広げることができ、新しい気づきや価値観が生まれるのかもしれない。

